



TAGAJOISM

歯科医師・藤 秀敏

#41

歯の診療だけではない

「当たり前」に食べられる」を目指して

地域医療に長年貢献した人に贈られる「第49回医療功労賞」を受賞した藤秀敏さん。昭和54年、市内に歯科医を開業。診療の傍ら、寝たきりなどで来院できない高齢者のため往診も始めました。

東日本大震災直後、七ヶ浜町の避難所に通い、ボランティアで1カ月間診療をしました。水や電気がない状況でしたが、長年の往診経験で、それほど困りませんでした。

避難所では、入れ歯を修理したり、入れ歯を紛失した被災者に、のみ込みを補助する器具を作ったりしました。

長年、特別養護老人ホームや特別

支援学校にも往診のため訪問しています。咀嚼やのみ込みがうまくできない高齢者や障害者に、歯の健康だけでなく、食べ方のトレーニングも指導しています。

のみ込む働きが悪いと誤嚥性肺炎を引き起こしやすくなります。口から発生する病気を予防するために日頃の口腔ケアが重要です。

口腔ケアを通して、「当たり前」に食べられるを目指したい」と語る藤さん。「歯科医だけでなく、看護師、介護士、ケアマネージャー、栄養士やヘルパーなど多くの協力を得ながら頑張っていきたい」と穏やかな笑顔の中に、情熱を垣間見せます。



藤 秀敏・ふじ ひでとし(72)
=伝上山=
1979(昭和54)年、ホワイト歯科クリニックを開業、院長。
クリニックで歯科診療に携わる一方、往診、高齢者や障害者の摂食嚥下支援にも積極的に取り組んでいる。